さいころ2個 ドリル⑤

中2／ドリル 項目5 ⑤ 定期テストの形／25点・15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿ /25

・「さいころ2個」の 問題。くじ・玉・さいころ・硬貨は どの 結果も 同じ 程度に 起こる ものと する。どの 問題も、大小2個の さいころを 投げる。全部で 25点・15分。大問4は 説明の 問題で、理由を 枠に 書く。
・大問1は、確率を 3つの 選択肢から ○で かこむ。
・大問2は、問題文の 条件に 合う 確率（約分した 分数）を 四角に 書く。
・大問3は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 ○で かこむ

各2点（6点）

(1) 目の 和が 6に なる 確率は？

$\frac{1}{11}$　$\frac{5}{36}$　$\frac{1}{6}$

(2) 一方の 目が 3、もう 一方の 目が 6に なる 確率は？

$\frac{1}{36}$　$\frac{1}{12}$　$\frac{1}{18}$

(3) 目の 和が 奇数に なる 確率は？

$\frac{1}{2}$　$\frac{1}{4}$　$\frac{5}{18}$

大問2 数えて 書く

各3点（9点）

(1) 目の 和が 9以上に なる とき、

確率 ＿＿＿＿

(2) 一方の 目が 2、もう 一方の 目が 6に なる とき、

確率 ＿＿＿＿

(3) 大の目が 4以上で、小の目が 奇数に なる とき、

確率 ＿＿＿＿

大問3 答案を 調べて 直す

各2点（4点）

(1) 小の目が 大の目の 約数に なる 確率
「同じ 目の 組は 約数に 入れず $\frac{2}{9}$」

正しい　まちがい

答え ＿＿＿＿

(2) 目の 和が 10に なる 確率
「3通りだから $\frac{3}{36}=\frac{1}{12}$」

正しい　まちがい

答え ＿＿＿＿

大問4 説明

6点

Aさんは、大小2個の さいころを 投げて 目の 積が 奇数に なる 確率を、「奇数か 偶数かの 2通りだから $\frac{1}{2}$」と 考えました。
この 考えが 正しくない 理由を、出方の 数を 使って 説明しなさい。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「確率」のプリント一覧がひらきます

さいころ2個　ドリル⑤【こたえ】

中2／ドリル　項目5 ⑤ 定期テストの形／25点・15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿　/25

大問1　○で　かこむ　各2点（6点）

(1)　目の　和が 6に　なる　確率は？

$\frac{1}{11}$　$\frac{5}{36}$　$\frac{1}{6}$

(2)　一方の　目が 3、もう　一方の　目が 6に　なる　確率は？

$\frac{1}{36}$　$\frac{1}{12}$　$\frac{1}{18}$

(3)　目の　和が　奇数に　なる　確率は？

$\frac{1}{2}$　$\frac{1}{4}$　$\frac{5}{18}$

大問2　数えて　書く　各3点（9点）

(1)　目の　和が 9以上に　なる　とき、

確率　$\frac{5}{18}$

(2)　一方の　目が 2、もう　一方の　目が 6に　なる　とき、

確率　$\frac{1}{18}$

(3)　大の目が 4以上で、小の目が　奇数に　なる　とき、

確率　$\frac{1}{4}$

大問3　答案を　調べて　直す　各2点（4点）

(1)　小の目が　大の目の　約数に　なる　確率

「同じ　目の　組は　約数に　入れず $\frac{2}{9}$」

正しい　まちがい

答え　$\frac{7}{18}$

(2)　目の　和が 10に　なる　確率

「3通りだから $\frac{3}{36}$ ＝ $\frac{1}{12}$」

正しい　まちがい

答え　同じ

大問4　説明　6点

Aさんは、大小2個の　さいころを　投げて　目の　積が　奇数に　なる　確率を、「奇数か　偶数かの 2通りだから $\frac{1}{2}$」と　考えました。

この　考えが　正しくない　理由を、出方の　数を　使って　説明しなさい。

出方は　全部で 6 × 6＝36通り。

積が　奇数に　なるのは　大も　小も　奇数の　ときで 3 × 3＝9通り。

奇数か　偶数かの 2通りは　同じ　程度に　起こらない。

確率は $\frac{9}{36}$ ＝ $\frac{1}{4}$ で、$\frac{1}{2}$ では　ない。

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1　正解は (1) $\frac{5}{36}$ (2) $\frac{1}{18}$ (3) $\frac{1}{2}$。(1) 和が 6は 5マス。(2) (3, 6) と (6, 3) の 2マス。(3) 和が　奇数は 18マスで　半分。

大問2　(1) $\frac{5}{18}$ (2) $\frac{1}{18}$ (3) $\frac{1}{4}$。(1) は　和が 9・10・11・12の 4+3+2+1＝10マス。(3) は　大の目が 4・5・6の 3通り、小の目が　奇数の 3通りで 3 × 3＝9マス。

大問3　(1)「同じ　目の　組（1と1など）を　約数から　外した（どの　数も　自分自身の　約数）」→ $\frac{7}{18}$。(2) は　正しい　答案（答えは「同じ」）。(1) の 14通りは　大の目ごとに 1・2・2・3・2・4。

大問4　観点は ①出方が　全部で 36通りと　示す ②積が　奇数に　なるのは　大も　小も　奇数の　ときと　示す ③確率が $\frac{1}{4}$ で $\frac{1}{2}$ ではない　と　結ぶ（解答例の　通りで　なくても　○）。

別解の　扱い：確率は　約分した　分数（上下でも　斜め線でも　○。小数・百分率・約分前は ×）。場合の数は　数だけ（「通り」は　あっても　○）。